

Gエッジ



Presented by

乱らんまん満

インセクト パニック  
Insect Panic

～異界生物に寄生・托卵されるヒト科メス～

GENESYS INC.

©RANMAN

GEIYF

202X年

世界紛争の絶えぬ  
日々の中でもそれは  
より一層の緊迫感を  
持って報じられた

地球外生命体による  
侵略が赤道直下の  
無人島を拠点に  
始まっているとゆう  
信じがたいニュース

それまで映画や  
漫画の中でしか  
見なかった文字が



### 外宇宙生命体の侵略か

ひとたび報道に  
出るや否や

視聴者投稿



人類は争う  
すべもなく

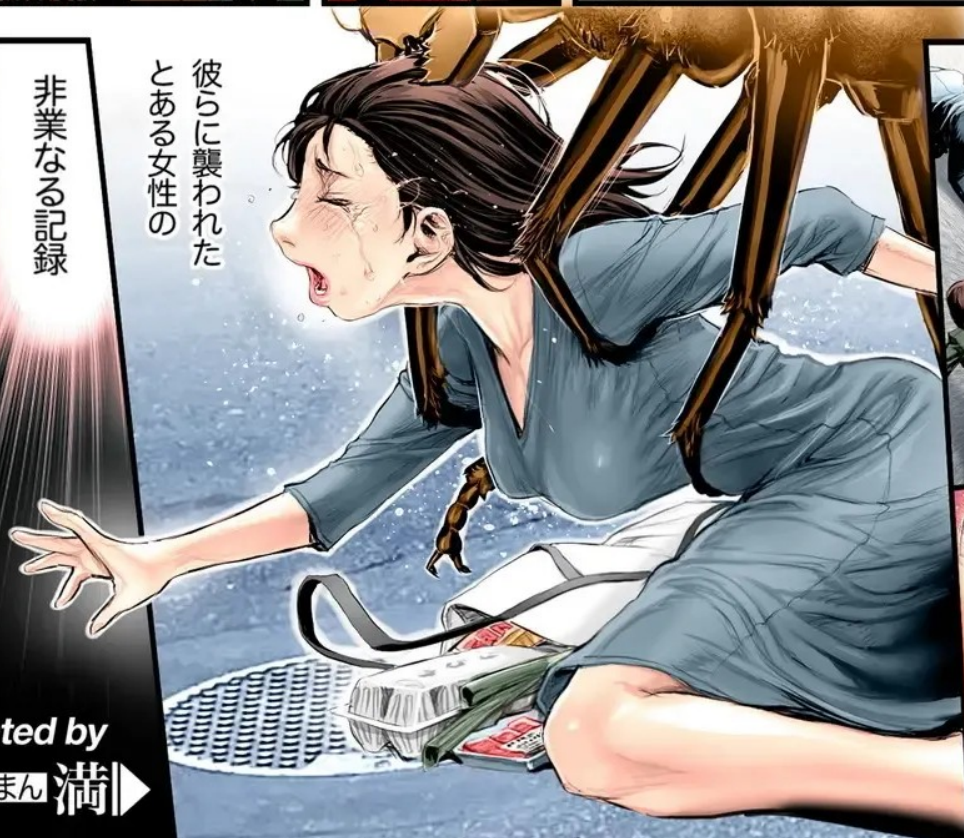
彼らに強襲  
されていった



すぐさまそれは  
身近な脅威となり



これは



彼らに襲われた  
とある女性の

非業なる記録

Presented by  
乱らんまん満



あ...!

あ...!

あ...!

NO COPY NO MORE

# パニック インセクト Insect Panic

～異界生物に寄生・托卵されるヒト科メス～  
Presented by 乱 5んまん 満

抵抗力を失った  
被験者は徐々に  
興奮し始め

毒針は一旦  
抜かれるが  
本当に怖いのは  
ここからだ

体温・脈拍共に  
上昇しここで  
死亡しなかった  
者だけが  
母体として  
開発される

毒が全身に回ると  
筋肉はすべて弛緩し  
痙攣し始める

彼らはその  
独特な器官  
を駆使して

その匂いを  
察知して  
彼らの毒針も  
徐々に変形  
してゆく

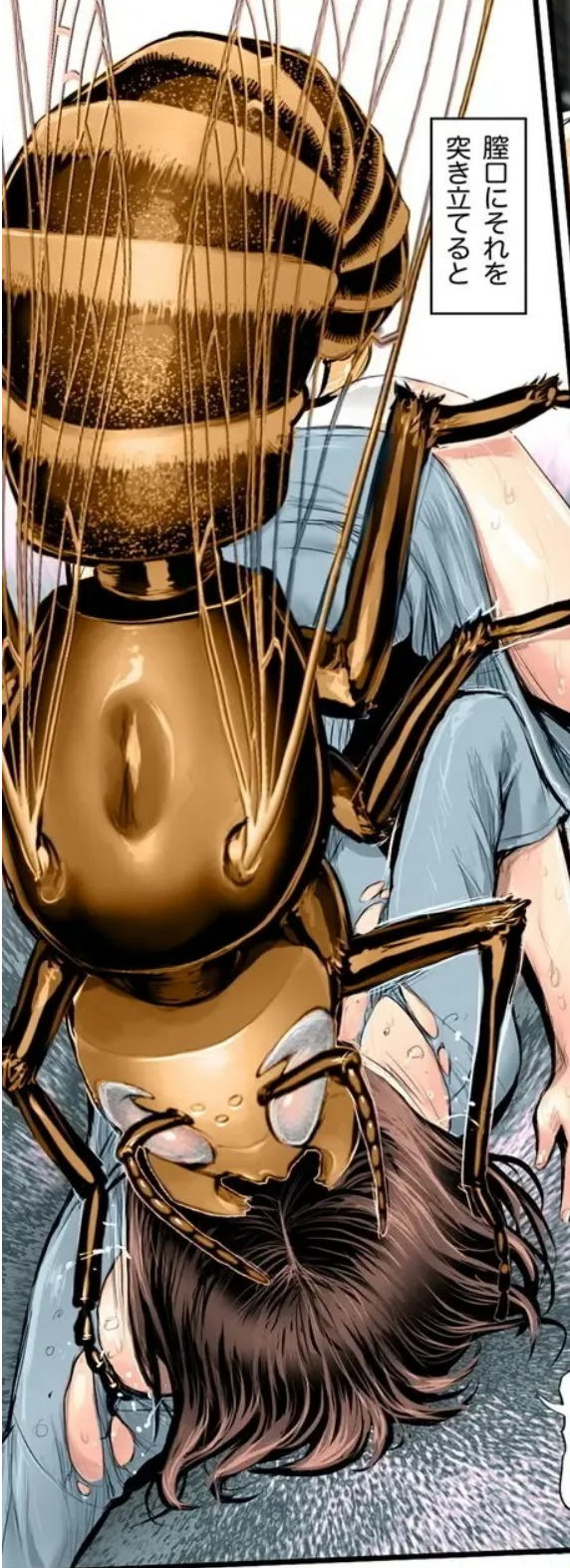
被験者の  
フェロモンを  
誘発する



74

あ...  
あ...  
あ...

あ



膣口にそれを  
突き立てると



産卵管と思しき  
それは細くしなり

やめ

やめ

それ自体が固有の  
無脊椎動物の様に  
妖しく蠢く代物で

始めは被験者の  
外性器に滑りを  
擦り付けるが



あゝ!!

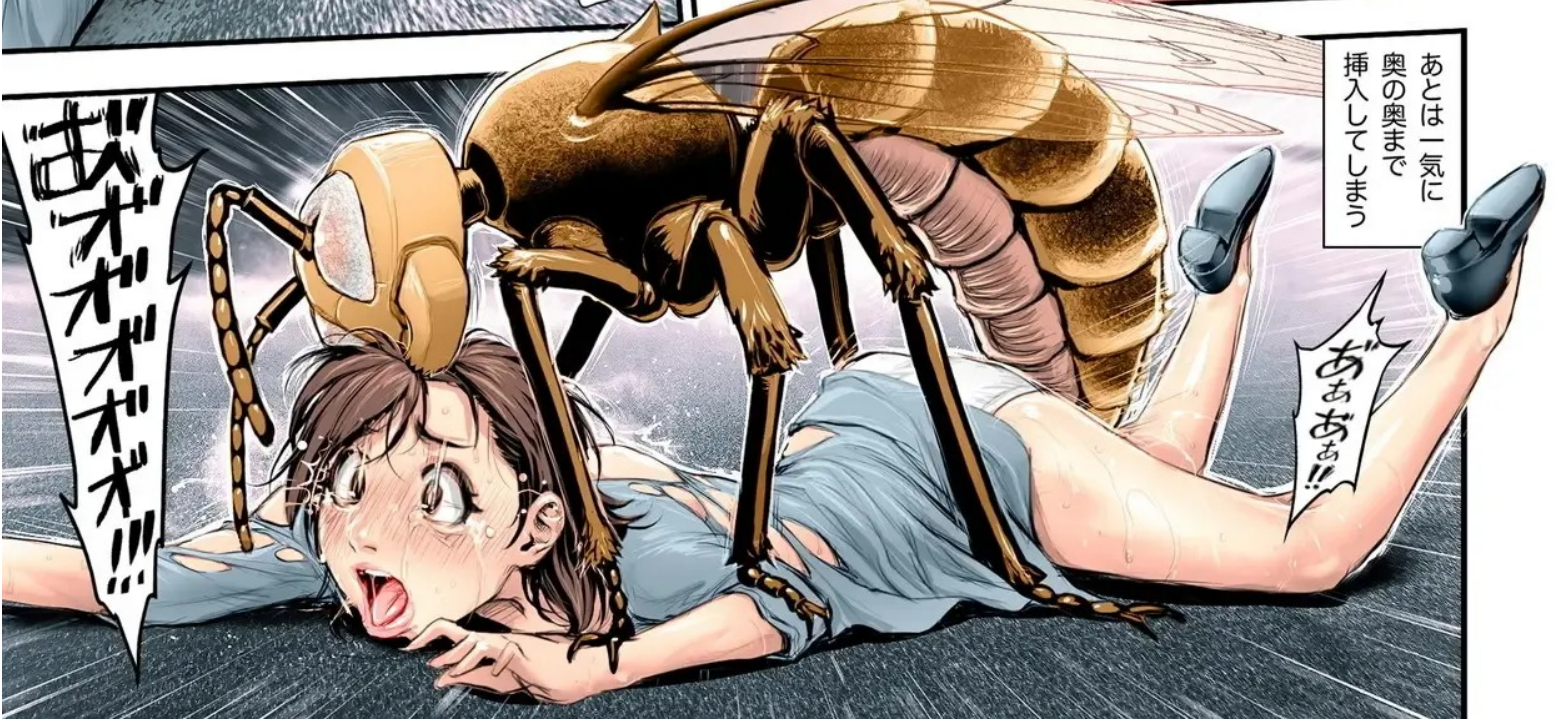
イヤッ

ひとつは  
四股へと  
当てがい

だ...  
だれかあ!!



あ

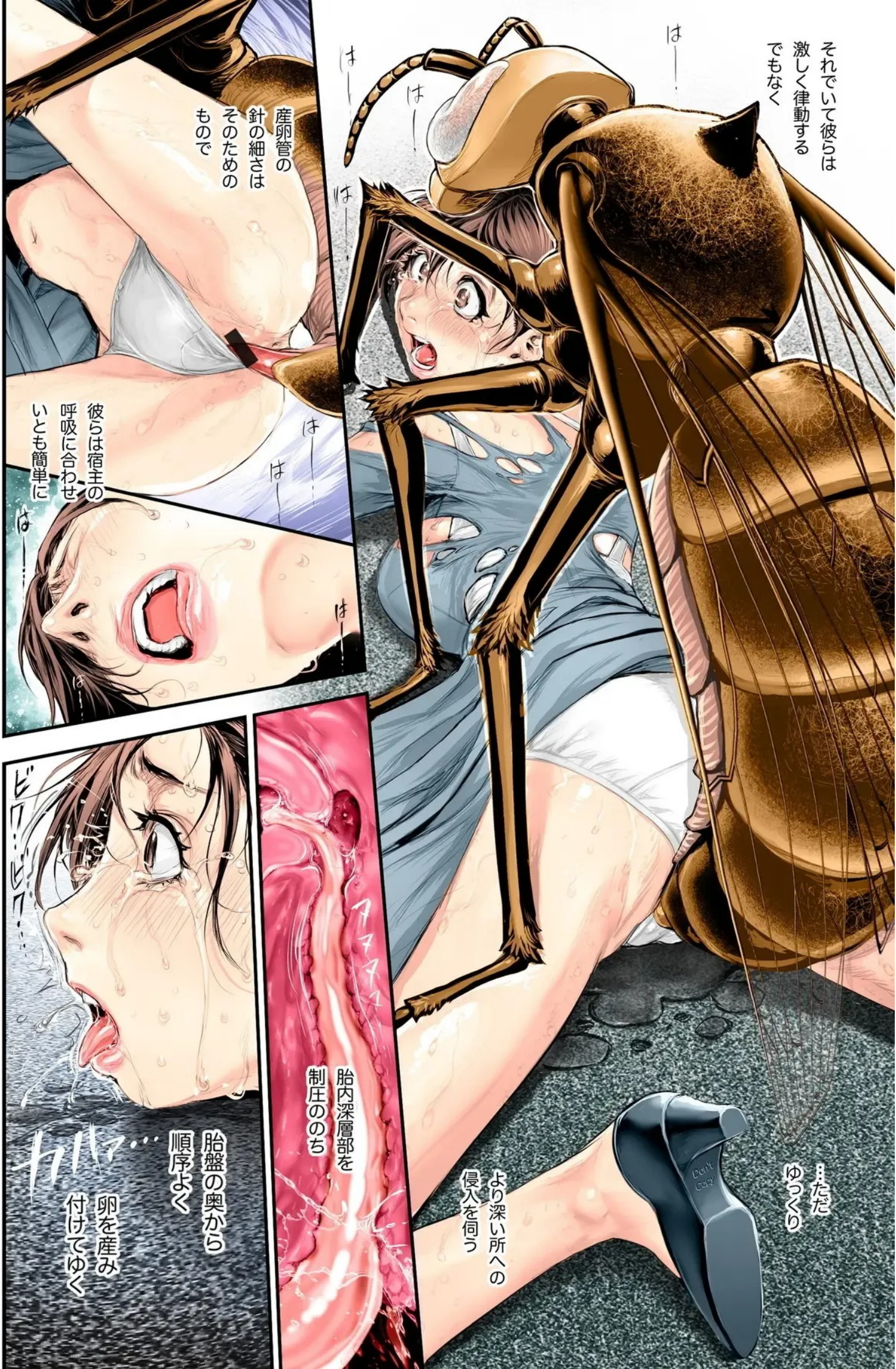


あとは一気に  
奥の奥まで  
挿入してしまふ

ああああ!!

オオオオ!!!

それでいて彼らは  
激しく律動する  
でもなく



は  
は  
は

産卵管の  
針の細さは  
そのため  
もので

彼らは宿主の  
呼吸に合わせ  
いとも簡単に

また  
ゆくの

より深い所への  
侵入を伺う

胎内深層部を  
制圧ののち

胎盤の奥から  
順序よく

卵を産み  
付けてゆく



カハ...



卵は隙間なく  
均等に並べられ

子宮内を埋め  
充たせてゆく

このまま

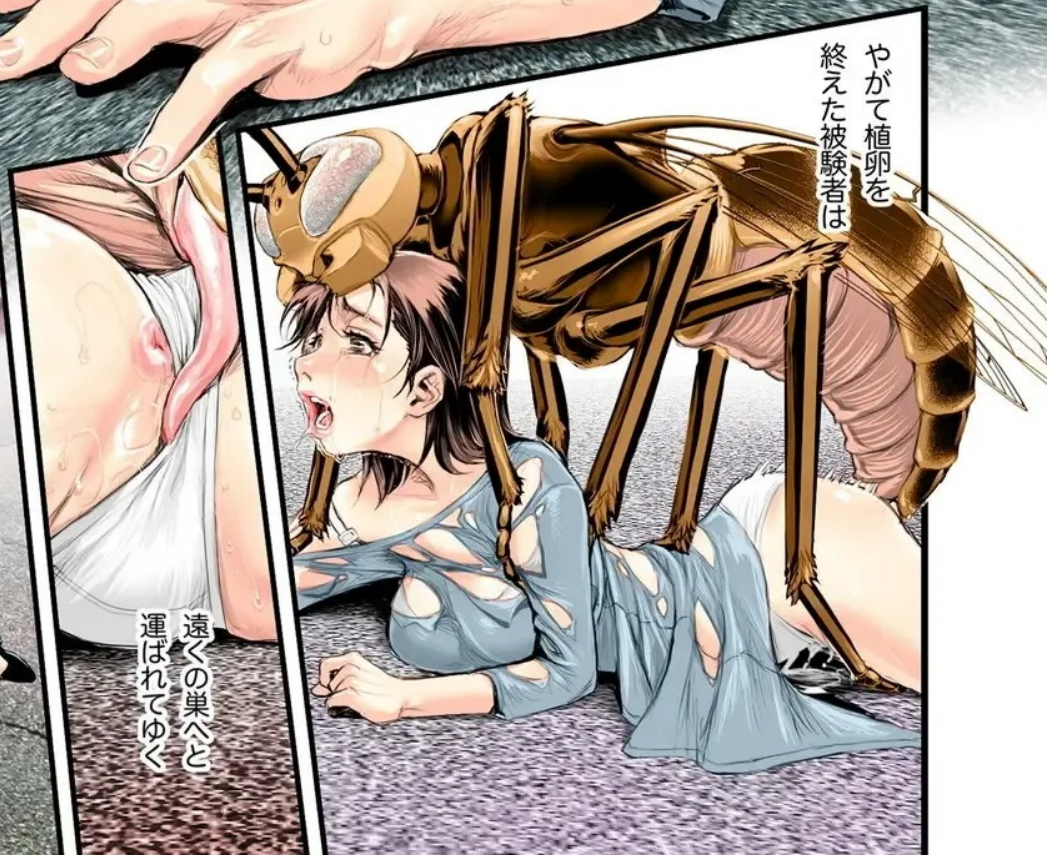
一度苗床に  
してしまつて  
もう2度と  
助からない

やがて植卵を  
終えた被験者は



ゴキブリ

我々はこの先にある  
彼らの生態を追った



遠くの巢へと  
運はれてゆく

被験者を持ち去る  
この未確認生物

その姿形から  
通称BBと  
呼ばれている

…この  
化け物は

種の繁栄に  
ヒトの雌の  
子宮を利用し  
植卵ののち

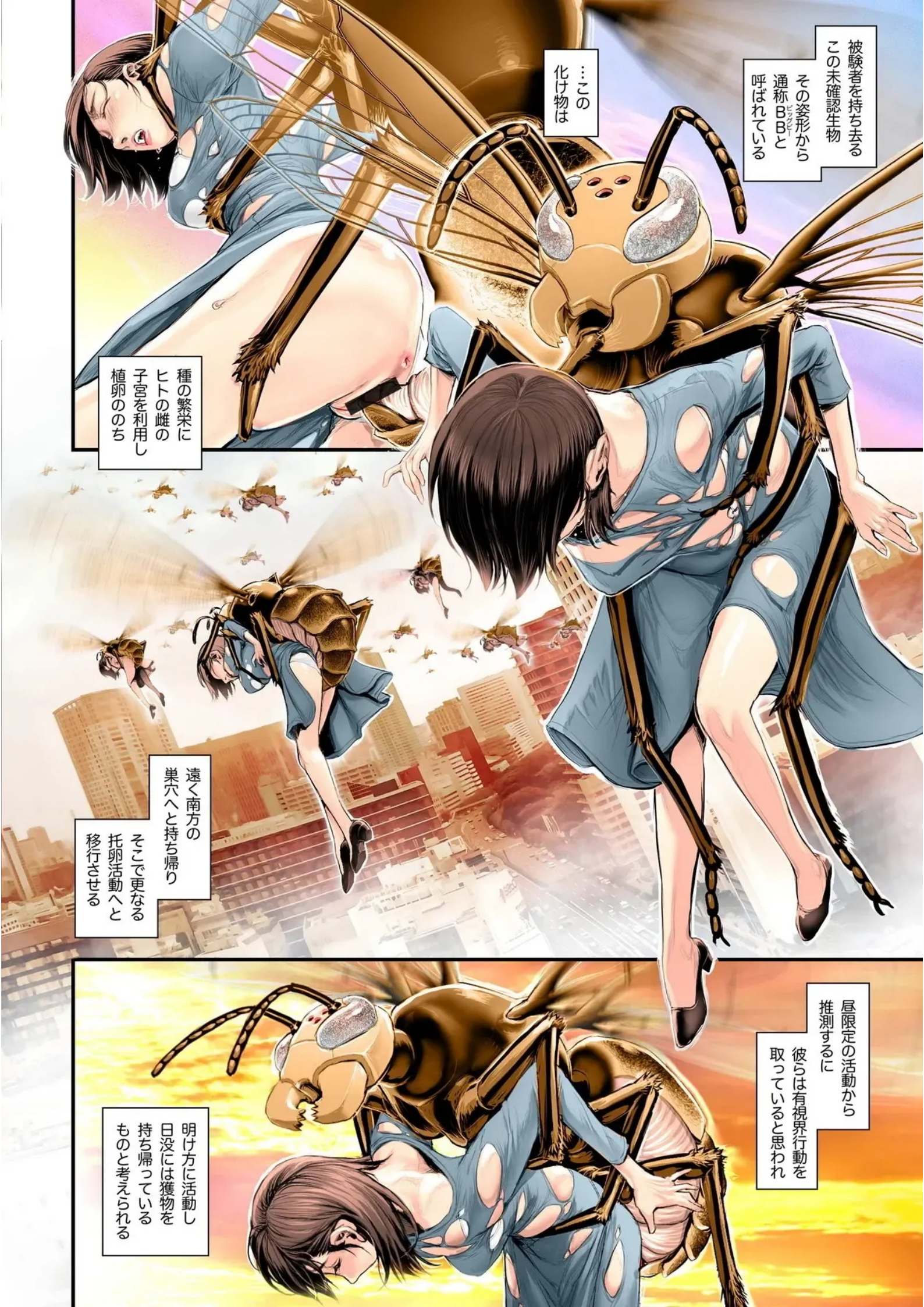
遠く南方の  
巣穴へと持ち帰り

そこで更なる  
托卵活動へと  
移行させる

昼限定の活動から  
推測するに

彼らは有視界行動を  
取っていると思われ

明け方に活動し  
日没には獲物を  
持ち帰っている  
ものと考えられる





しかし奪還は  
極めて困難であり

背水の  
陣である

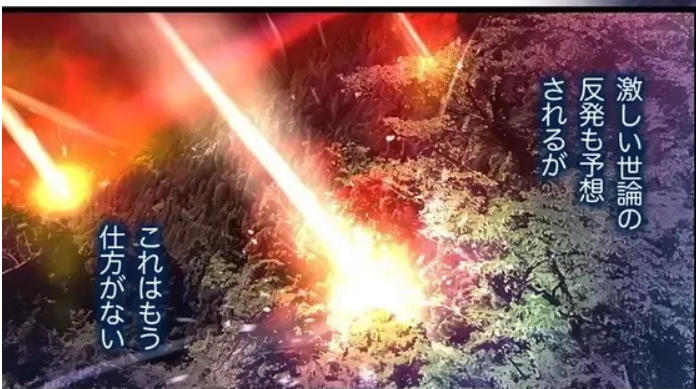
これが  
人類存亡の  
可能性を秘めた  
唯一の選択だ



これらの事象から  
我々の打つ手は  
夜間強襲玉砕  
しかない

だがそれは  
同時に…

拐<sup>さ</sup>わられた者達の  
命を犠牲にして  
しなう行為に  
他ならない



激しい世論の  
反発も予想  
されるが

これはもう  
仕方がない



ドローンを巢に  
忍はせる事に成功

より詳細で残忍な  
彼らの繁殖行動を  
知る事ができた



先の攻撃の裏で

そして  
我々は



彼らの数は  
我々の防衛能力を  
遥かに上回ってる

残されたチャンスは  
もう決して多くはい



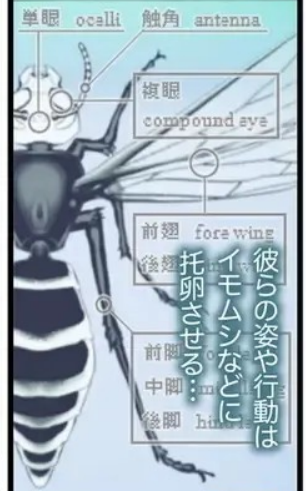
近くに住む  
島民男性の

多数の被害が  
確認されている



その対象は  
人間であり

フィリピン南方の  
無人島に発見された  
根城の手前では



いわゆる寄生蜂に  
似てはいるが



繁殖活動のため  
彼らは女性だけを  
根城に連れ帰り

一人ずつ狭い  
巣穴に入れ



蜜液にたっぷり  
浸らせた地盤に  
着床させる

蜜液が長い  
時間をかけ  
繊維質を  
溶かしてゆき

……



着床した被験者は  
身動きを封じられ  
巣と一体化する

……

……

私…いま  
どうなっ  
てるの？

あなた：  
ゆるして  
わたし  
このまま

死ぬの？

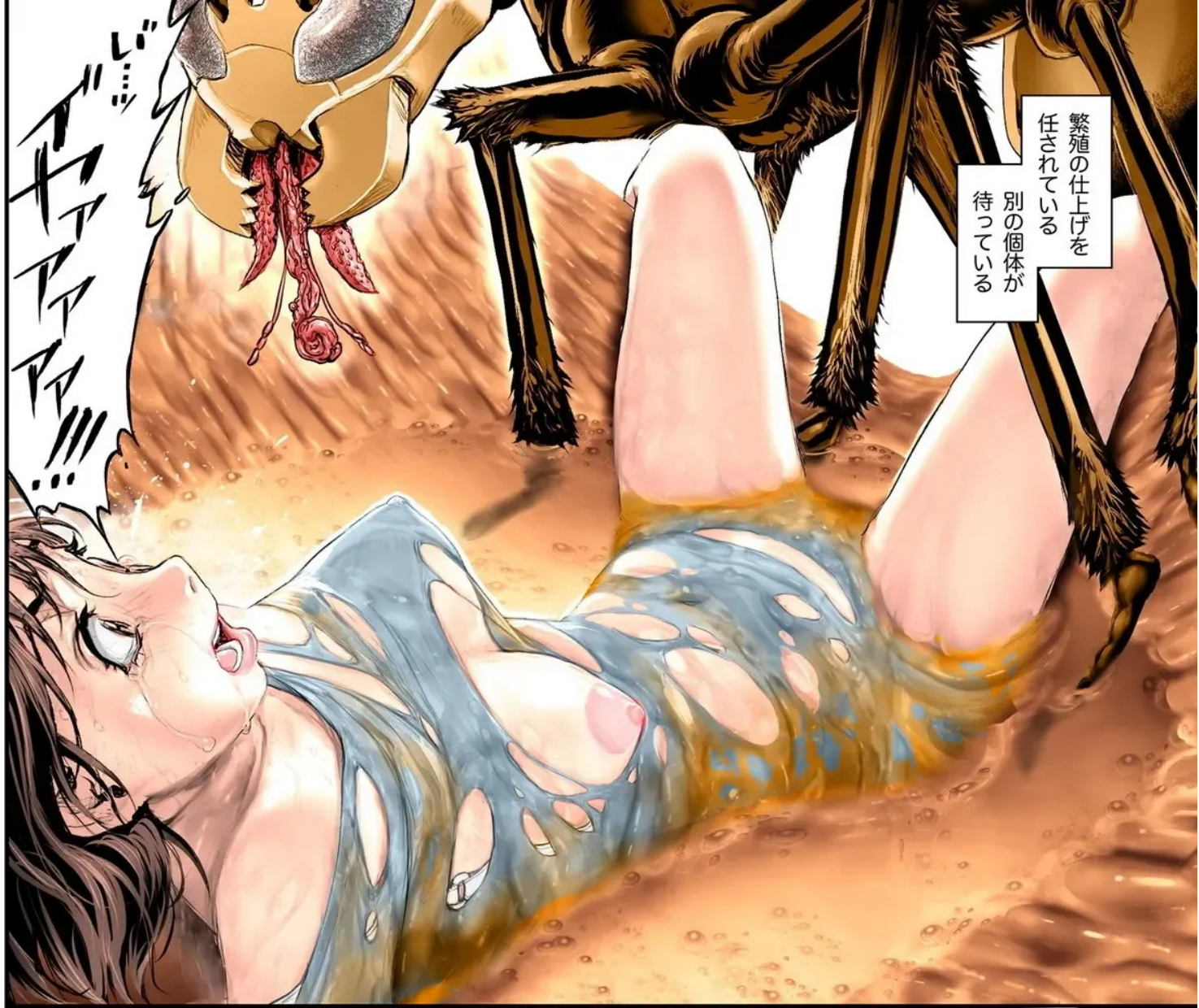
彼らは両性具有で  
ありながら自らの  
リスク回避に  
人の雌メスを  
利用する

ああ  
おなか  
すいた

こんな事  
なるのなら  
ちゃんと  
子作りして  
おくんだった

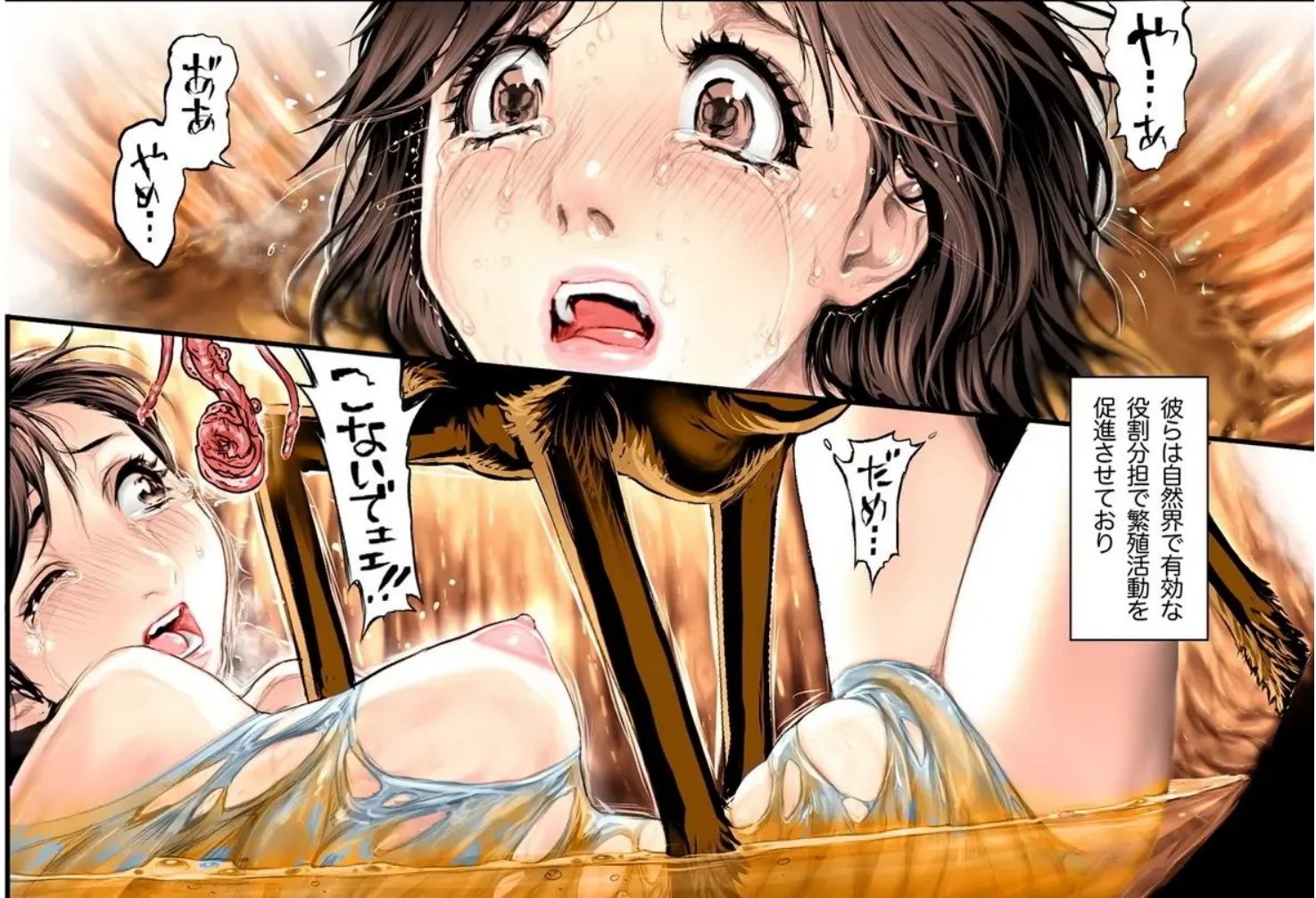
そして  
そこには





繁殖の仕上げを  
任されている  
別の個体が  
待っている

アアアアアア!!!



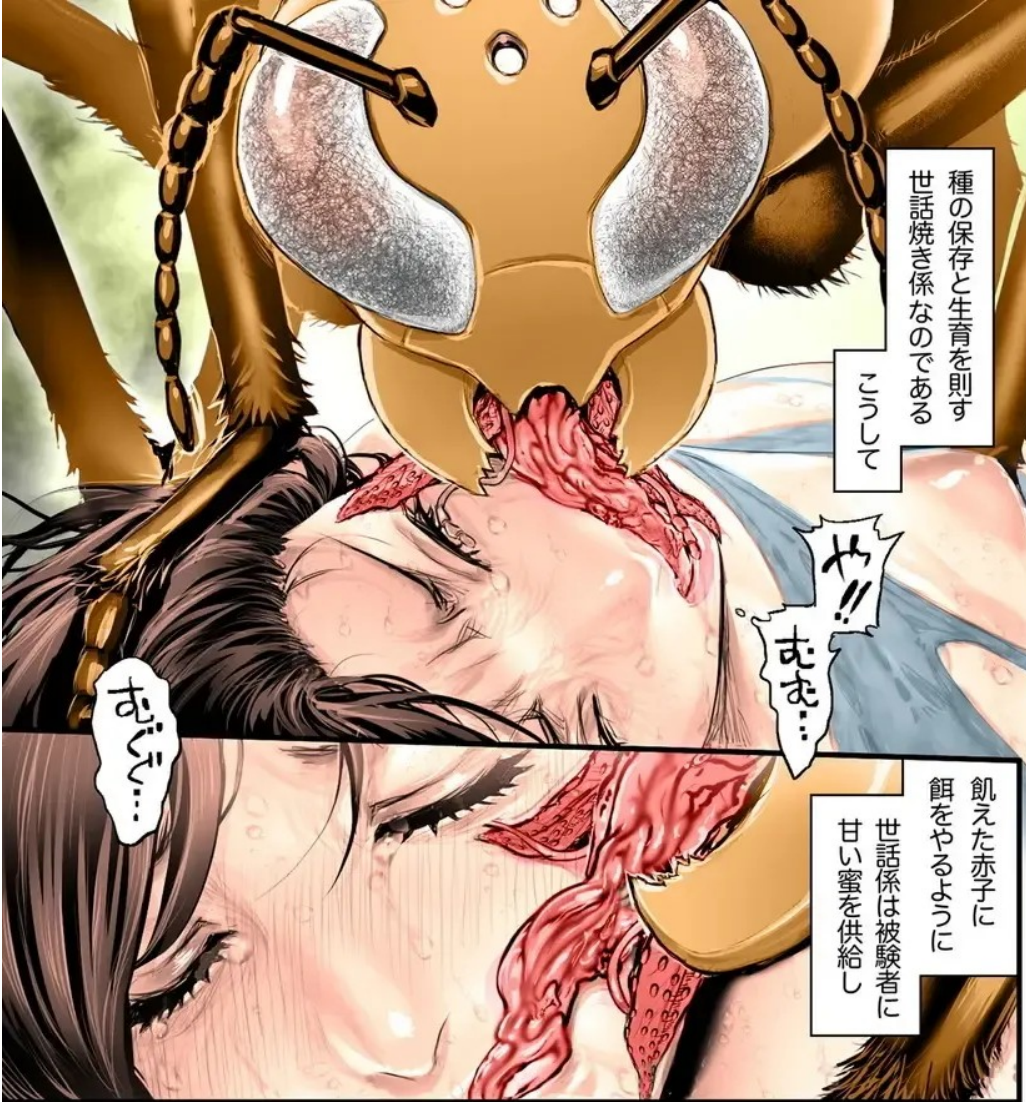
彼らは自然界で有効な  
役割分担で繁殖活動を  
促進させており

だめ!!!

アアアアア!!!

アアア...

ヤ...あ



種の保存と生育を則す  
世話焼き係なのである

こうして

や!!  
まお...

まお...

飢えた赤子に  
餌をやるように  
世話係は被験者に  
甘い蜜を供給し



先の個体が  
種を植え運ぶ  
遊撃隊なら

この個体は



んむー...  
まお...

ヒトの雌を女王蜂の  
様な存在に変え

ゴロ...

ゴロ...

ん...

ん...

少しでも長い間  
寄生し続けるため

生かさず殺さず  
蜜の毒で酩酊させ  
末期の免疫不全に  
陥らせるのだ





あーっ!!

ピタッ

ピタッ

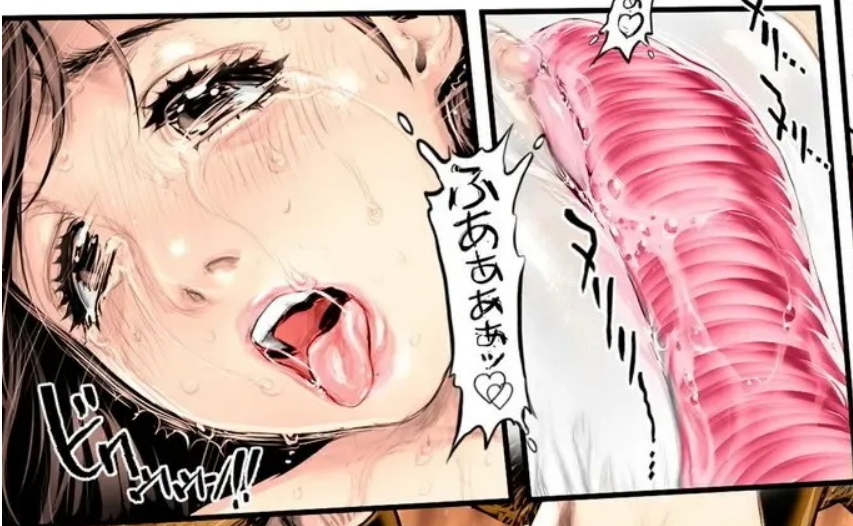
♡♡♡

マキヤ...

マキヤ...

マキヤ...

♡♡♡



ピタッ!!

♡♡♡

♡♡♡

ピタッ!!

ピタッ!!

非常に執拗な  
愛撫と交配を  
繰り返す



ピタッ...

ああ...あなた  
ごめんあなた

わたし...

わたし...もっ!  
あッ♡ああ♡

ピタッ  
マキヤ...

世話焼き個体は  
遊撃隊と違い

あーっ!!

♡♡♡

ピタッ!!

ピタッ...

マキヤ...

♡♡♡

それが  
被験者を  
豊かな母体に  
育て上げる

あ…

あまい  
…ね

もっ♡

重要な役割  
なのだ  
そして  
それ故に

もっ♡…♡  
ちようだい  
ね♡

もっ♡

繁殖行動に自らを  
差し出すよう  
洗脳されてしまっ

もっ♡…みっ  
ほし♡…♡  
おねがい

ズズ♡…♡

そ…  
それ♡

あ♡

洗脳は  
痛覚と味覚の  
判断を鈍らせ

同じ甘美へと  
変えてしまったため

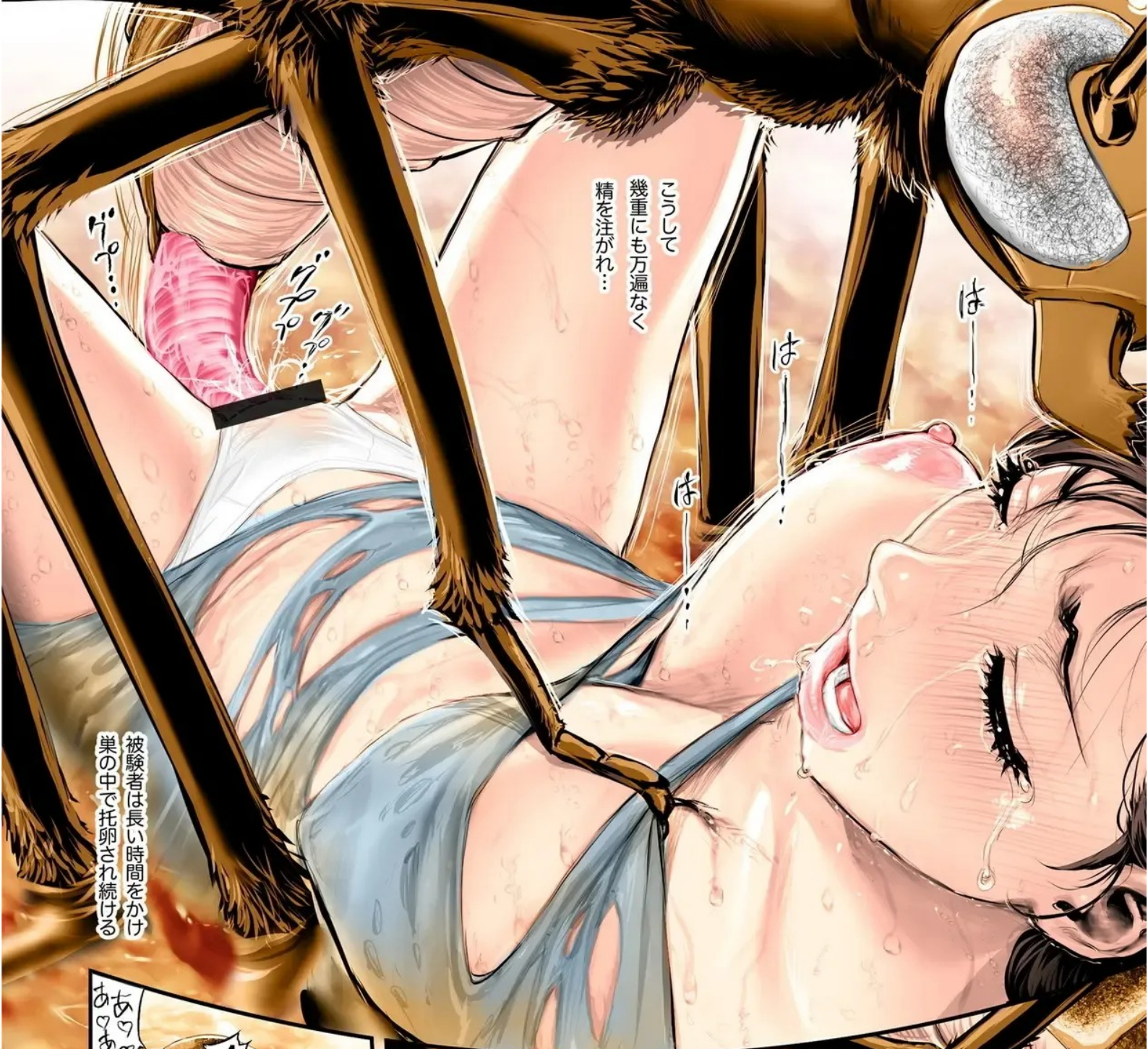
ふ!!

♡♡♡♡♡  
♡♡♡♡♡  
♡♡♡♡♡

ズズ♡

ズズ♡





こらして  
幾重にも万遍なく  
精を注がれ…

は…

は

は

ぐわ…

ぐわ  
ぐわ  
ぐわ

被験者は長い時間をかけ  
巢の中で托卵され続ける



あ♡あ♡  
あ♡あ♡

♡…♡

最愛♡  
♡…♡

この繁殖活動が  
行われるのは  
夜の間だけ  
ではあるが



最も…



あ♡あ♡  
あ♡あ♡

♡…♡

最愛♡  
♡…♡

陽が昇ると共に  
彼らは巣を離れ  
新たな触媒を求め

偏西風に乗って  
侵略範囲を広げる  
旅に出てゆく

残された被験者は  
巣の中で少しずつ

彼らの仔を  
孵化させてゆく

その光景は  
あたかも……

家畜化された  
培養施設の  
ようである

体形は  
大きく歪み

中で孵化した  
幼体は徐々に

胎盤から剥かれ  
子宮から産道へ  
移動する

その間も被験者は  
蜜液の快楽物質に  
溺れ続け……

歓喜のまま  
出産を迎える

だが果たして  
我々人間は  
それを

出産と呼ぶか  
侵食と呼ぶか



産道を通る  
幼体の滑りにも  
快楽を覚え：

アッアッアッアッアッ

ブルブル...  
ゴッゴッゴッ...

ハイヤ...も...!!!  
ギョッギョッ...

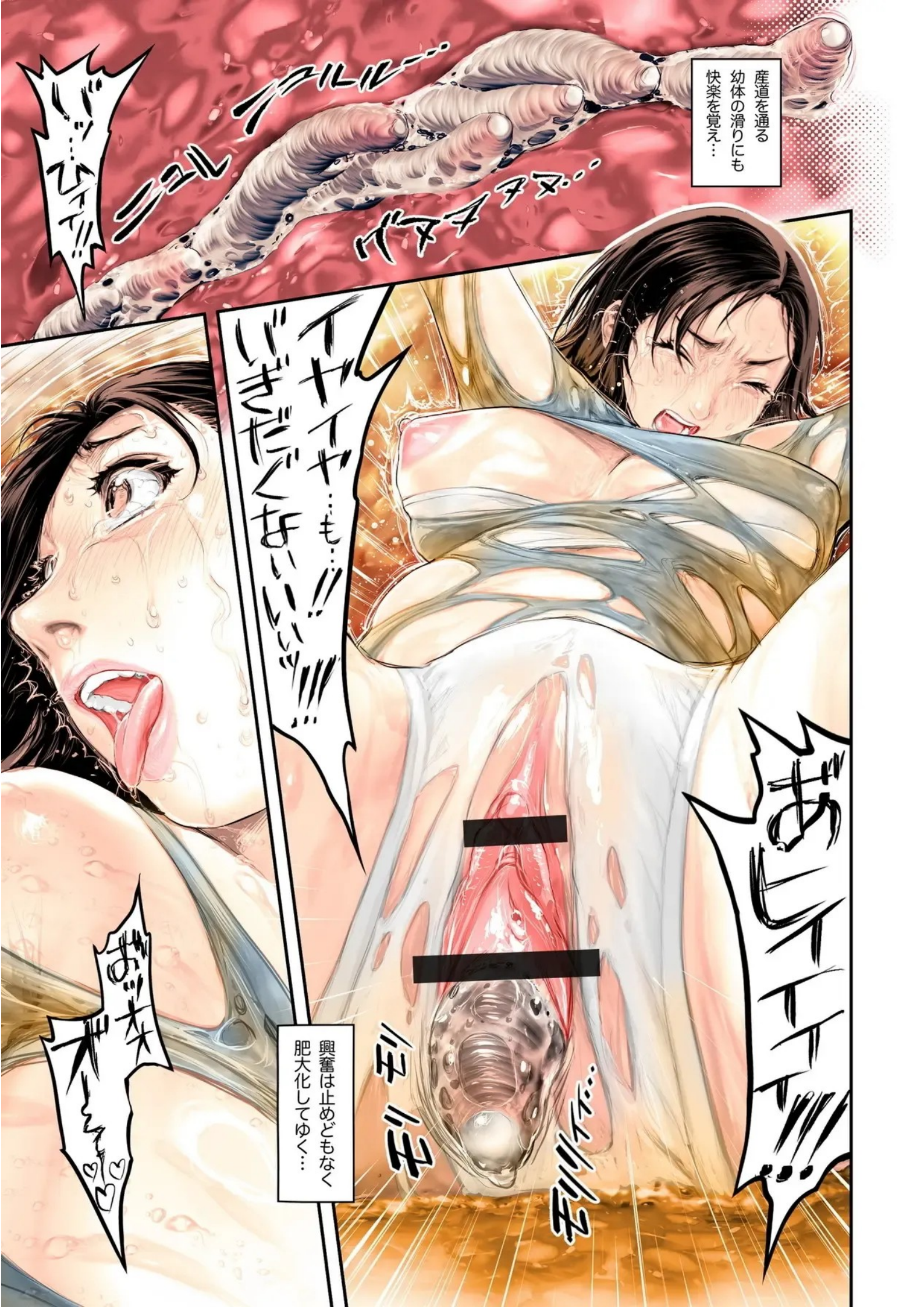
おっ...  
おっ...  
おっ...

興奮は止めどもなく  
肥大化してゆく...

モリモリ

モリモリ...

アッアッアッアッアッ





そして  
ついに  
被験者は

グワッ

バババ

グワッ

グワッ

グワッ

グワッ

グワッ

!!

彼らの幼体を  
外へと放出  
するのだが

その頃には

グワッ

グワッ

グワッ

グワッ

グワッ

グワッ

グワッ



も…  
もっと…

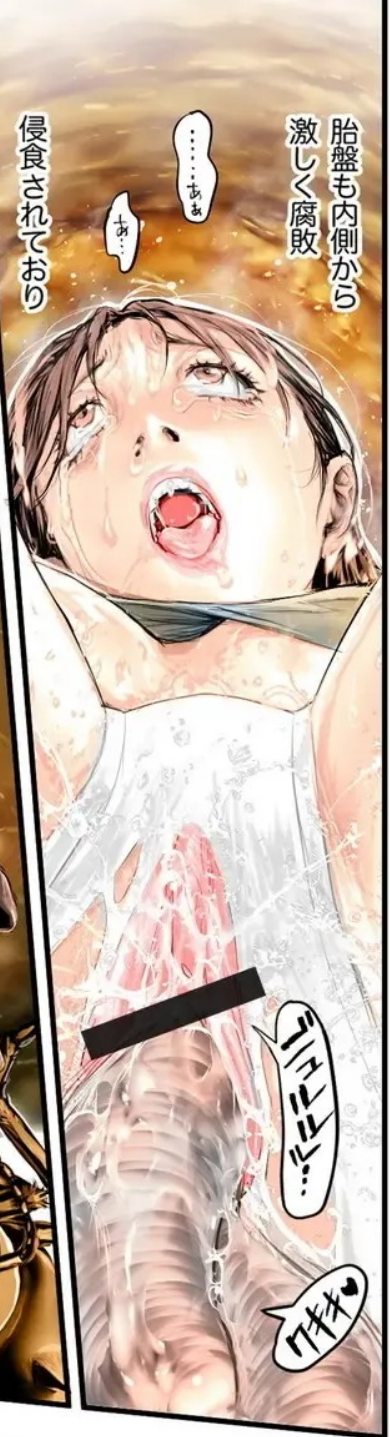
もっと…  
ほし…

喰い荒らされ  
続ける事で

……

幼体を産んでからも  
持続する強制的な  
快樂物質の攻撃から

逃れられず



胎盤も内側から  
激しく腐敗

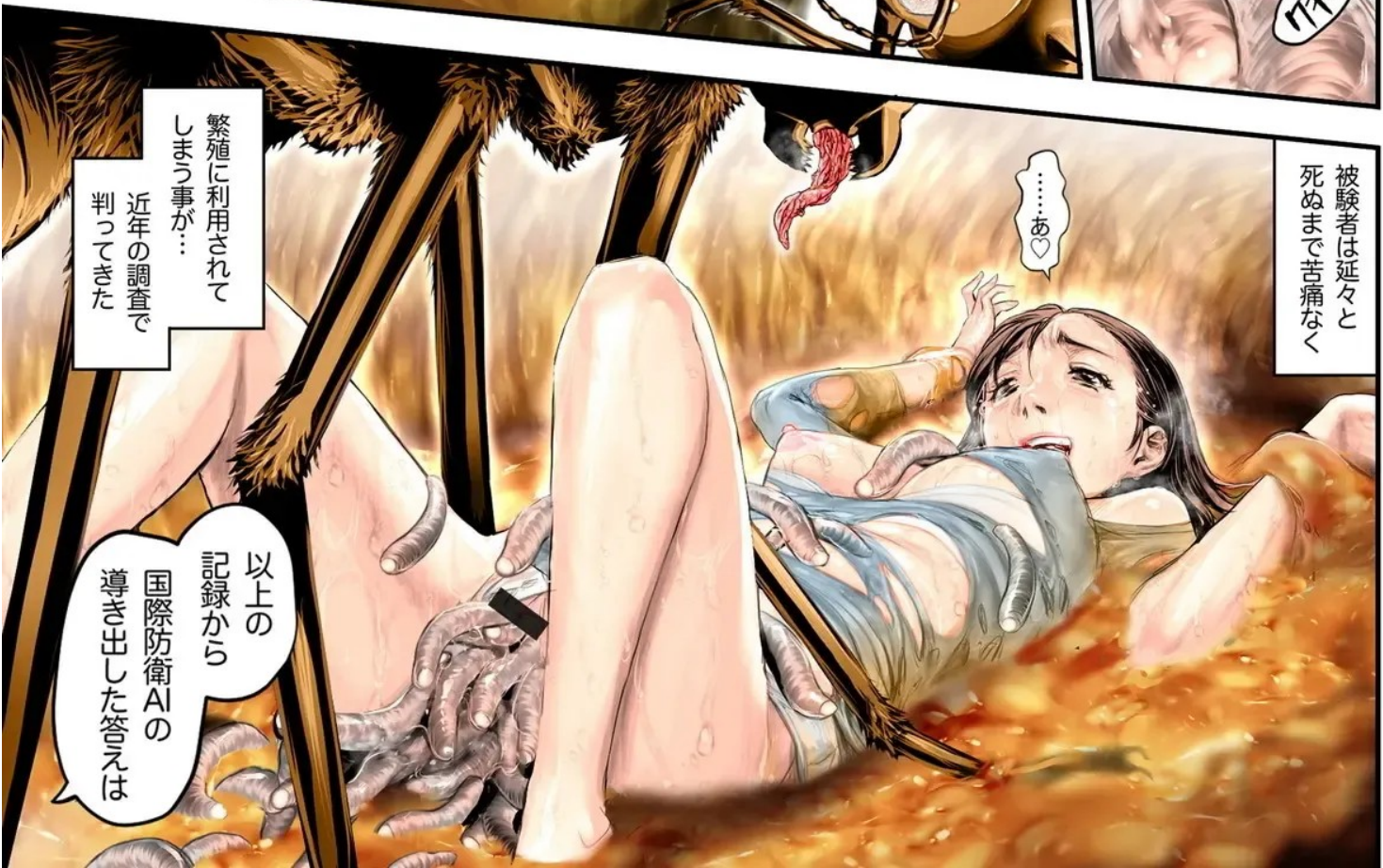
……ああ

ああ

侵食されており

クククク……

ククク



被験者は延々と  
死ぬまで苦痛なく

……あ♡

繁殖に利用されて  
しまう事が…

近年の調査で  
判ってきた

以上の  
記録から

国際防衛AIの  
導き出した答えは



民間人の  
救出を諦め  
防衛に回すも

.....

国防の弾数に  
限りがあり  
お手上げ状態



人口増加率の  
要である女性を  
5割近く奪われ

それでもなお  
現状から人口が  
回復するまでの  
予想年数は  
245年とまで  
試算された



次の奇襲に  
失敗した場合の  
人類生存率は-35%



世界は今  
一丸となって戦うには  
あまりにつまらぬ抗争で  
疲弊しすぎた  
もう終わりだ

人類はいずれにせよ  
滅びゆく運命だった  
のかもしれない

君らの意見を  
聞かせてくれ...

教授...

ENDO



*Fin*

ГЕИМН